

1. 職名・氏名 准教授 成田光江2. 学位 学位 修士、専門分野 社会福祉、授与機関 日本福祉大学、授与年月 2007年3月

## 3. 教育活動

<b>(1)講義・演習・実験・実習</b>	
① 担当科目名（単位数）	主たる配当年次等
○主担当：成人慢性看護学演習（2）3年生 ○担当：成人慢性看護学（2）2年生 ○主担当：療養生活マネジメント実習（2）3年生	
② 内容・ねらい（自由記述）	
○成人慢性看護学演習：設定した模擬患者に対する看護過程の展開。ロールプレイを通じて多職種連携の必要性や実際を理解する。実習の準備ができる。	
○成人慢性看護学：慢性疾患や難病を抱えた患者・家族の看護、社会保障制度、入退院支援、慢性疾患や難病を抱えた患者・家族に必要な看護・支援のあり方や方法（多機関・多職種連携、連携システムづくり等）を理解する。	
○療養生活マネジメント実習：福井県立病院での実習。生活習慣病や難病、整形外科疾患等により患し、入院治療を行った患者・家族の退院後の療養と生活に必要な看護実践を理解する。	
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	
○成人慢性看護学演習：実例を用いた模擬患者を設定し、現場実習で使用する記録用紙を用い、看護過程の展開と看護記録が理解できるよう、講義を交えて支援した。また、多職種連携の理解では、DVD視聴後、学生自ら患者・家族、医師や薬剤師等、院内外の他職種役を演じ退院支援・退院調整を行うロールプレイ「模擬退院前カンファレンス」を実施した。	
○成人慢性看護学：講義前の5分間で、基礎力向上に向けた小テストを実施した。実例を用い、社会保障制度、国・自治体・各施設・事業所等が提供する支援サービス等、慢性疾患、難病患者・家族の治療・療養・生活支援の具体を説明した。	
○成人療養生活マネジメント学実習：福井県立病院に入院する慢性疾患や難病等を抱える患者・家族と、患者・家族を支える病棟看護師や退院支援看護師をはじめとする多職種との積極的なかわりを促すことで、医療チームの一員として看護を展開すること、多職種連携の実際を経験すること、看護専門職として自ら学び成長することができるよう、学生の自立を支援した。	
<b>(2)非常勤講師担当科目</b>	
①担当科目名（単位数）	開講学校名
②内容・ねらい（自由記述）	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫（自由記述）	
④本学における業務との関連性（自由記述）	
<b>(3)その他の教育活動</b>	
内容	
○福井県立病院 地域医療連携推進室 勉強会講師 ワークショップや講義型研修等を通し、入退院支援における院内のしくみづくりや人材育成、地域の関係機関との連携・協働のあり方等、現場の実情に応じた実践を地域医療連携推進室に勤務する退院調整看護師やMSWが自ら考え行動できるよう、継続的に支援している。	
○ふくい女性財団 研修講師 複合介護・多重ケアに関する講義と、住民対象のワークショップ「多重ケアの現状と課題～	

みんなで考える今・この時から私たちにできること」を開催した。

○福井県こども療育センター 研修講師

複合介護・多重ケアに関する講義と、障害児を持つ親、支援者、行政職を対象とするワークショップ「障がいのあるある児を持つ親の多重課題と支援を考える」を開催した。

○FBC テレビ

番組「街にあてる聴診器」の中で、我が国の社会保障制度が抱える課題や制度設計について解説した。

○武生高校、開放教室講師「看護師のお仕事」看護師になるための方法や教育機関・内容の違い、看護師のキャリア教育に関する講義を行った。

○地域密着型研修 研修企画・運営・講師

地域連携本部との協働で、福井県歯科医師会、福井県栄養士会、福井県立病院、県民生協と連携し、住民を対象とする演習研修会「食えること・飲み込むこと～誤嚥性肺炎の予防法～口腔ケア編、食事編」を6回/年開催した。また、研修会に学生を動員し、インストラクター兼参加者として学修・活躍する場面をつくることで、地域住民と関わる機会を設けた。

○県大ライブラリーカフェ 研修企画・講師

住民を対象に「老いても人生を楽しく～社会情勢からそのヒントを探る～」の講師として、講義（実践編）・ワークショップ（こんな地域だったらいいな）を開催した。また、研修会に学生を動員し、地域住民とともに地域の実状を知る・課題の解決策を考える機会を設けた。

○福井県市民貢献研究会 研修講師

福井県市民貢献研究会の会員を対象に、複合介護・多重ケアに関する講義とワークショップ「多重ケアの現状と課題～私たちができること・しなければならないこと」を開催する予定（2020年3月）。

#### 4. 研究業績

<b>(1)研究業績の公表</b>
①論文 (タイトル、共著者の有無(共著の場合は主たる担当箇所について)、掲載雑誌名(号数)、掲載(受理)年月日)
②著書 ○『複合介護』単著、創英社/三省堂書店、2018年 ○『看護記録の活用術』共著、pp.50-51、pp.130-134、メディカ出版、2018年
③学会報告等
④その他の公表実績
<b>(2)学会活動等</b>
学会でのコメンテーター、司会活動(担当報告名、担当学会(大会)名(開催年月日))
学会での役職など(学会名) ○事務局長(国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン)
学会・分科会の開催運営(担当学会(大会)名(開催年月日)、開催場所) ○日本看護技術学会(2019年9月7・8日)アオッサ
<b>(3)研究会活動等</b>
①その他の研究活動参加(参加研究会名、調査活動名(期間)) ○福井県内の地域密着型研修会に関するアンケート調査(2019年6月～2019年12月) ○「模擬退院カンファレンスと療養生活マネジメント実習を通じた退院支援の学修効果」(2019年7月～2020年2月)
②その活動による成果
<b>(4)外部資金・競争的資金獲得実績</b>
<b>(5)特許出願</b>

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体
① 国・地方公共団体等の委員会・審議会（それぞれの名称、業務内容、担当期間） ○東京都港区医師会地域包括ケア研究会 委員、事務局 2013年4月～2018年3月 ○東京都港区地域包括ケアシステム推進会議 委員 2015年9月～2017年3月 ○東京都港区地域包括ケアシステム推進会議 事務局 2017年4月～2018年3月 ○東京都港区地域包括ケアシステム推進会議作業部会 委員 2017年4月～2018年3月
②国・地方公共団体等の調査受託等（それぞれの名称、業務内容、活動期間）
③（公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加（それぞれの名称と活動内容、活動期間） ○JANNET（日本障害者NGO団体）2007年～ ○にんじん村（全国LD親の会 世田谷）2007年～
④（兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動 ○一般社団法人 みなと地域包括ケアシステム研究所（成田 看護師・社会福祉士事務所）： 地域医療・療養相談、地域包括ケアシステムの構築に向けた支援、複合介護・多重ケアの 複合課題に関する普及・啓発 2011年3月～
⑤大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等 （事業名称及び主催・共催者名、活動内容、活動期間） ○食べること・飲み込むこと～誤嚥性肺炎の予防法 主催：福井県立大学、共催：福井県歯 科医師会、福井県立病院、福井県栄養士会 地域密着型研修会の開催：住民を対象に、福 井県立大学永平寺キャンパス、新町ハウス、県立病院で演習研修会（口腔ケアや水分摂取 の方法、食事介助や嚥下調整食の試食）を行った。学生をインストラクターや参加者とし て動員し、住民と関わる機会を設けた。2019年6月～12月の6回）
⑥その他（名称、活動場所、活動期間） ○新聞取材：朝日新聞、10月8日 N313にて取材、掲載未定 ○ラジオ：FBC「ようこそ県立大学へ」ライブラリーカフェの紹介、11月2日放送 ○TV：FBC「街にあてる聴診器」5月7日 N313にて取材、5月末と2020年1月5日の2 回放映（再放送含） ○講演： ・ふくい女性財団、ふくいきらめきフェスティバル2019「知っていますか？多重ケア 多重 ケアの現状と課題～みんなで考える今・この時から私たちにできること」6月29日 ・福井県子ども療育センター、第3回療育研修会「障がいのあるある児を持つ親の多重課題 と支援を考える」10月27日 ・福井県市民貢献研究会「多重ケアの現状と課題～私たちができること・しなければならない こと」2020年3月開催予定
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
①公開講座・オープンカレッジの開講（タイトル名、開催場所、開催日時） ○食べること・飲み込むこと～誤嚥性肺炎の予防法 福井県立大学永平寺キャンパス地域経 済研究所、新町ハウス、福井県立病院、7月13、20、27日、9月28日、10月20日、12 月8日 ○県大ライブラリーカフェ「老いても人生を楽しく～社会情勢からそのヒントを探る～」永 平寺ンキャンパス県大図書館、11月9日
②社会人・高校生向けの講座（タイトル名、開催場所、開催日時） ○開放教室「看護のお仕事」武生高校、7月10日
③その他（名称、活動場所、活動期間）
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等） （活動内容、主たる活動場所、活動期間）

6. 大学の管理・運営

(1)役職 (副学長、部局長、学科長) (職名、期間)
(2)委員会・チーム活動 (名称、期間) ○実習検討委員会：2018年4月～(継続) ○学年担任(4年)：2018年4月～(担任持ち上がり) ○カリキュラム委員会：2018年6月～(継続) ○大学院博士課程PT：2018年6月～(継続) ○修士論文委員：2019年4月～(新規)
(3)学内行事への参加 (行事名、参加日時) ○入試業務 11月23日、1月19日、2月2日、3月12日
(4)その他、自発的活動など (活動名、活動内容、活動期間) ○保健師・看護師公開模試(8月16、17日、10月14日、19日、12月6日、7日、 1月4日、10日) ○看護師模試解説会(9月14日、11月10日、12月15日、1月11日) ○学生相談：就職相談(多数回)